

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)

【公表番号】特表 2011-517142 (P2011-517142A)

【公表日】平成 23 年 5 月 26 日 (2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報 2011-021

【出願番号】特願 2010-537178 (P2010-537178)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 5 4 6

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 8 日 (2011.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コーディネータノードと、リーフノードのセットを含むネットワークにおいて通信するための方法であって、

スーパーフレームは、アクティブ期間、および前記アクティブ周期に続く非アクティブ期間を含み、前記アクティブ期間は、第 1 の競合アクセス期間 (CAP - 1) と、前記 CAP - 1 に続く第 1 の非競合期間 (CFP - 1) と、前記 CFP - 1 に続く第 1 のグループ確認応答 (GACK - 1) と、前記 GACK - 1 に続く第 2 の CFP - 2 と、前記 CFP - 2 に続く第 2 の GACK - 2 と、前記 GACK - 2 に続く第 2 の CAP - 2 とを含み、各前記 CFP は、各前記リーフノードに割り当てられた保証タイムスロット (GTS) を含み、前記コーディネータノードから前記リーフノードのセットに、前記スーパーフレームを定義するビーコンを周期的に送信することと、

各前記リーフノードによって、各前記 CFP の間の、該リーフノードに割り当てられた前記 GTS の間にのみ、前記コーディネータノードに送信することと

を含む方法。

【請求項 2】

前記 GACK - 1 は、前記 CFP - 1 内で、前記 GTS におけるいずれの送信が失敗または成功したかを示し、前記 GACK - 2 は、前記 CFP - 2 内で、前記 GTS におけるいずれの送信が失敗または成功したかを示す請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 CFP - 2 は、失敗した前記送信のための GTS を提供する請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 CFP - 2 は、前記 CFP - 1 内に失敗した送信が存在する場合、アラートメッセージのための GTS を提供する請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記アクティブ期間は、前記 CAP - 2 に続く第 3 の CFP - 3、および前記 CFP - 3 に続く第 3 の GACK - 3 をさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ビーコン送信周期は、スーパーフレーム間隔の整数倍に等しい請求項 1 に記載の方

法。

【請求項 7】

前記スーパーフレームのアクティブ間隔は、複数の C A P 間隔を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記スーパーフレームのアクティブ間隔は、複数の広範な C F P 間隔を含む請求項 1 に記載の方法。